

2023 年度

大学院学生募集要項

文学研究科
経済学研究科
経営学研究科
法学研究科
工学研究科
人間情報学研究科

東北学院大学

新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症の影響により、募集要項等に記載されている内容（選抜の方法・日程・会場など）に変更があった場合は、大学ホームページでお知らせしますので、出願及び試験の前には必ず確認してください。

目 次

東北学院大学大学院 教学上の3つの方針 … 1

I. 博士前期課程・修士課程

一般選考・社会人特別選考

1. 募集定員	3
2. 出願資格	3
一般選考	3
社会人特別選考	4
3. 出願手続	4
(1)出願書類	4
一般選考および社会人特別選考	4
外国人の方	5
(2)入学検定料	6
(3)出願期間	6
(4)出願書類の提出(郵送)先	6
4. 試験場・試験日・合格発表	6
5. 試験科目・試験時間	7
一般選考	7
文学研究科	7
経済学研究科	8
経営学研究科	8
法学研究科	9
工学研究科	10
人間情報学研究科	11
社会人特別選考	11
全研究科・専攻(共通)	11
6. 入学手続	12
(1)秋季試験合格者	12
(2)春季試験合格者	12
(3)入学手続書類の提出(郵送)先	12
7. 研究計画書作成上の注意	13

推薦選考

1. 募集定員	14
2. 出願資格	14
3. 出願手続	15
(1)出願書類	15
(2)入学検定料	15
(3)出願期間・出願書類の提出(郵送)先	16
4. 試験日・試験場	16
5. 選考方法	16
6. 合格発表	16
7. 入学手続	17
(1)A日程合格者	17
(2)B日程合格者	17
(3)入学手続書類の提出(郵送)先	17

II. 博士後期課程

一般選考・社会人特別選考

1. 募集定員	18
2. 出願資格	18
一般選考	18
社会人特別選考	19
3. 出願手続	19
(1)出願書類	19
一般選考および社会人特別選考	19
外国人の方	20
(2)入学検定料	21
(3)出願期間	21
(4)出願書類の提出(郵送)先	21
4. 試験場・試験日・合格発表	21
5. 試験科目・試験時間	22
一般選考	22
文学研究科	22
経済学研究科	23
法学研究科	23
工学研究科	24
人間情報学研究科	24
社会人特別選考	25
文学研究科・経済学研究科・法学研究科・ 工学研究科・人間情報学研究科	25
6. 入学手続	26
7. 研究計画書作成上の注意	27

<input type="checkbox"/> 学生納付金等	28
<input type="checkbox"/> 個人情報について	28
<input type="checkbox"/> 長期履修制度	29
<input type="checkbox"/> 受験上の配慮について	30
<input type="checkbox"/> 提出書類様式	

東北学院大学大学院入学志願書

東北学院大学大学院研究計画書(表紙)博士前期課程・修士課程

東北学院大学大学院研究計画書(表紙)博士後期課程

東北学院大学大学院業務報告書(表紙)博士後期課程

外国人出願事前審査申請書(入学志願書)

東北学院大学大学院推薦選考推薦書

※特別選考要項については、別紙「大学院
博士前期課程・修士課程特別選考要項」
を参照ください。

東北学院大学大学院 教学上の3つの方針

文学研究科

博士前期課程

【学位授与の方針】

文学研究科は、博士前期課程において、所定の履修細則に従って30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で提出した修士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「修士(文学)」の学位を授与する。

1. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力を有する。
2. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有する。
3. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する学術研究の遂行および成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

文学研究科は、博士前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、「基礎科目」または「選択必修科目」を置く。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果1、2を達成することを主たる目的として、英語英文学専攻では提携した他大学院の授業科目の中から選択履修することができるものとし、10単位を限度として課程修了に必要な単位として認める。ヨーロッパ文化史及びアジア文化史専攻では、相互に選択履修することができるものとし、4単位を限度として課程修了に必要な単位として認める。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果2、3を達成することを主たる目的として、コースワーク科目とリサーチワーク科目をバランス良く置き、必要な研究指導を行う。
4. 本課程が目的とする人材養成の多様性に対応するため、複数教員による指導体制を採る。

【入学者受け入れの方針】

文学研究科は、次の点を確認することにより、博士前期課程への入学者を受け入れる。

1. 次の(1)～(3)の人材養成及び再教育という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有する。
 - (1)英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する高度な専門知識を生かした職業人(教員、学芸員など)
 - (2)英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する高度な専門知識を有する社会人
 - (3)英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史を専門とする研究者
2. この課程における学修に必要な水準の一般的学力(外国語を含む)を有する。
3. この課程における高度な専門知識を有する社会人。

博士後期課程

【学位授与の方針】

文学研究科は、博士後期課程において、所定の履修細則に従って12単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「博士(文学)」の学位を授与する。

1. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する幅広い視野、専門的な知識及び思考力を有する。
2. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する研究課題について、高度に専門的で、学術的な価値の高い知見を有する。
3. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する学術研究の継続的遂行及び成果の公表にむけて、自立した研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

文学研究科は、博士後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1、2を達成することを主たる目的として、「演習」I～IVを置き、必修とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、「論文指導」I・IIを置き必修とするとともに、研究指導を行う。

【入学者受け入れの方針】

文学研究科は、次の点を確認することにより、博士後期課程への入学者を受け入れる。

1. 英語英文学、ヨーロッパ文化史またはアジア文化史に関する研究者の養成という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有する。
2. この課程における学修に必要な、高い水準の一般的学力(外国語を含む)を有する。
3. この課程における学修に必要な高度に専門的な知識を有する。
4. 研究課題に関して、専門的で学術的な価値のある知見を有する。

経済学研究科

博士前期課程

【学位授与の方針】

経済学研究科は、博士前期課程において、所定の履修方法に従って32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果を達成した者に、「修士(経済学)」の学位を授与する。

1. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力を有すること。
2. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識を有すること。
3. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有すること。
4. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する学術研究の遂行および成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意欲を有すること。

【教育課程編成・実施の方針】

経済学研究科は、博士前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1及び2を達成することを主たる目的として、1年次に「研究科基礎」科目を置くとともに、研究科講義科目として「経済理論」科目、「応用経済」科目、「歴史」科目を置く。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、1年次から「研究科演習」科目を置くとともに、必要な研究指導を行う。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果4を達成することを主たる目的として、1年次の「研究科演習」科目に加え2年次の「研究科論文指導」によって必要な研究指導を行い、指導教員以外の教員からも助言を受けるために修士論文の「中間報告会」を設ける。

【入学者受け入れの方針】

経済学研究科は、次の方針により、博士前期課程への入学者を受け入れる。

1. 本課程の学修に必要な経済学(経済理論・応用経済・歴史)の一定の基礎学力と明確な研究計画を有していること。
2. 本課程の学修において必要な専門知識や研究能力を身につけたいと考えている意欲を有すること。
3. これまでの社会経験をもとに学問研究を深めることによって社会貢献を志したいという目標をもちていること。

博士後期課程

【学位授与の方針】

経済学研究科は、博士後期課程において、所定の履修方法に従って12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果を達成した者に、「博士(経済学)」の学位を授与する。

1. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する幅広い視野、専門的な知識及び思考力を有すること。
2. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する研究課題について、高度に専門的で、学術的な価値の高い知見を有すること。
3. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する学術研究の継続的遂行および成果の公表にむけて、自立した研究者として必要な知識、技能、意欲を有すること。

【教育課程編成・実施の方針】

経済学研究科は、博士後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1及び2を達成することを主たる目的として、「経済学特別演習A」及び「経済学特別演習B」を置き、必修とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、「論文指導」を置き必修とするとともに、研究指導を行う。

【入学者受け入れの方針】

経済学研究科は、次の点を確認することにより、博士後期課程への入学者を受け入れる。

1. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する研究者を目指すという明確な目標と研究課題を有すること。
2. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する高度な専門的な知識を有すること。
3. 経済学(経済理論・応用経済・歴史)に関する研究課題に関して、専門的で学術的な価値のある知見を有すること。

修士課程

【学位授与の方針】

経営学研究科は、修士課程において、所定の履修細則に従って30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「修士(経営学)」の学位を授与する。

1. 経営学に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力を有する。
2. 経営学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有する。
3. 経営学に関する学術研究の遂行及び成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

経営学研究科は、修士課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、1年次に「一般講義」並びに「応用講義」を置く。

2. 学位授与の方針に定めた学修成果2並びに3を達成することを主たる目的として、1年次から「演習」を置くとともに、必要な研究指導を行う。

【入学者受け入れの方針】

経営学研究科は、次の点を確認することにより、修士課程への入学者を受け入れる。

1. 次の(1)～(3)の人材養成及び再教育という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有する。
 - (1)経営に関する専門職業人(公認会計士、税理士など)
 - (2)経営に関する高度な専門知識を有する社会人(公務員、企業人、教員、団体職員など)
 - (3)経営学に関する研究者
2. この課程における学修に必要な水準の一般的学力を有する。
3. この課程における学修に必要な水準の経営学に関する専門知識を有する。

博士前期課程

【学位授与の方針】

法学研究科は、博士前期課程において、所定の履修細則に従って30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文またはそれに代わる学修成果の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「修士(法学)」の学位を授与する。

1. 法学または政治学に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力を有する。
2. 法学または政治学に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識を有する。
3. 法学または政治学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有する。
4. 法学または政治学に関する学術研究の遂行および成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

法学研究科は、博士前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、1年前期に「一般講義」、1年後期から「応用講義」を置く。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果2を達成することを主たる目的として、「特定テーマ研究」を置く。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、1年後期から「演習」を置くとともに、必要な研究指導を行う。
4. 学位授与の方針に定めた学修成果4を達成することを主たる目的として、「導入科目」を1年前期に置き必修とするとともに、必要な研究指導を行う。
5. 本課程が目的とする人材養成の多様性に対応するため、複数の履修コースを設け、それぞれ異なる修了要件とする。

【入学者受け入れの方針】

法学研究科は、次の点を確認することにより、博士前期課程への入学者を受け入れる。

1. 次の(1)~(4)の人材養成及び再教育という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有する。
 - (1)法または政治に関する専門職業人(税理士、司法書士、社会保険労務士、行政書士など)
 - (2)法または政治に関する高度な専門知識を生かした職業人(公務員、企業人、教員、団体職員など)
 - (3)法または政治に関する高度な専門知識を有する社会人
 - (4)法または政治に関する研究者
2. この課程における学修に必要な水準の一般的学力を有する。
3. この課程における学修に必要な水準の、法学または政治学に関する専門知識を有する。

博士後期課程

【学位授与の方針】

法学研究科は、博士後期課程において、所定の履修細則に従って12単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「博士(法学)」の学位を授与する。

1. 法学または政治学に関する幅広い視野、専門的な知識及び思考力を有する。
2. 法学または政治学に関する研究課題について、高度に専門的で、学術的な価値の高い知見を有する。
3. 法学または政治学に関する学術研究の継続的遂行および成果の公表にむけて、自立した研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

法学研究科は、博士後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1及び2を達成することを主たる目的として、「法律学演習Ⅰ」及び「法律学演習Ⅱ」を置き、必修とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、「論文指導」を置き必修とするとともに、研究指導を行う。

【入学者受け入れの方針】

法学研究科は、次の点を確認することにより、博士後期課程への入学者を受け入れる。

1. 法または政治に関する研究者の養成という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有する。
2. この課程における学修に必要な、高い水準の一般的学力(外国語を含む。)を有する。
3. この課程における学修に必要な、法学または政治学に関する高度に専門的な知識を有する。
4. 研究課題に関して、専門的で学術的な価値のある知見を有する。

博士前期課程

【学位授与の方針】

工学研究科は、博士前期課程において、所定の履修細則に従って32単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「修士(工学)」の学位を授与する。

1. 工学に関する幅広い視野、基本的な知識及び思考力を有する。
2. 工学に関するいくつかの特定テーマについて専門的な知識を有する。
3. 工学に関する研究課題について、専門的で学術的な価値のある知見を有する。
4. 工学に関する学術研究の遂行及び成果の公表にむけて、研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

工学研究科は、博士前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、専攻別の科目を置くほか、関連科目として他専攻の科目の履修も可能とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果2、3を達成することを主たる目的として、「工学修士研修」及び「工学特別演習」を置き、必要な研究指導を行う。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果4を達成することを主たる目的として、「修士論文」を課すほか、「技術経営特論」及び「知的財産特論」を置き、いずれか1科目を必修とする。

【入学者受け入れの方針】

工学研究科は、次の点を確認することにより、博士前期課程への入学者を受け入れる。

1. 専門分野を学ぶための基礎学力と柔軟な思考能力及び自主的に学ぶ姿勢を有する。
2. 専門分野の将来的な社会の変化、科学技術の進展に強く関わる情熱を持ち、自ら問題を見出し、解決しようとする意欲を有する。
3. 専門知識と洞察力を身につけ、国際的視野のもとに社会の発展に貢献したい意思を有する。

博士後期課程

【学位授与の方針】

工学研究科は、博士後期課程において、所定の履修細則に従って16単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「博士(工学)」の学位を授与する。

1. 工学に関する幅広い視野、専門的な知識及び思考力を有する。
2. 工学に関する研究課題について、高度に専門的で、学術的な価値の高い知見を有する。
3. 工学に関する学術研究の継続的遂行及び成果の公表にむけて、自立した研究者として必要な知識、技能、意識を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

工学研究科は、博士後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、学際基盤科目を修得する。また、「技術経営特論」及び「知的財産特論」について、前期課程で修得していない場合、いずれか1科目を必修とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果2を達成することを主たる目的として、「工学修士研修」を置き必修とする。また「インターンシップ研修」、「工学特別研修」及び「工学特別実習」を置く。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、「博士論文」を課し、必要な研究指導を行う。

【入学者受け入れの方針】

工学研究科は、次の点を確認することにより、博士後期課程への入学者を受け入れる。

1. 工学に関する研究者の養成という、この課程の目的に合致する入学志望動機と研究課題を有する。
2. この課程における学修に必要な、高い水準の一般的学力(外国語を含む。)を有する。
3. この課程における学修に必要な、工学に関する高度に専門的な知識を有する。
4. 研究課題に関して、専門的で学術的な価値のある知見を有する。

博士前期課程

【学位授与の方針】

人間情報学研究科は、博士前期課程において、所定の履修方法に従って30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「修士(学術)」の学位を授与する。

1. 人間情報学にかかわる専門的な知識を有する。
2. 学術的および実社会の問題を学際的視野から捉える態度・能力を有する。
3. 学術的および実社会の問題の解決に貢献できる研究能力を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

人間情報学研究科は、博士前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1を達成することを主たる目的として、コア学科目群として社会情報学、行動情報学、生命・情報学の3領域の専門科目群を置き、そのうち1つをメジャー領域として選択させる。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果2を達成することを主たる目的として、幅広い学問領域から構成される基礎学科目群を置くとともに、上記のメジャー領域以外の領域からも科目を選択させる。
3. 学位授与の方針に定めた学修成果3を達成することを主たる目的として、1年および2年次に「人間情報学演習」を置き必修とするとともに、必要な研究指導を行う。併せて学修成果2を達成するため、専門の異なる複数の教員による演習指導を実施する。

【入学者受け入れの方針】

人間情報学研究科は、本研究科の理念・目的を理解していることを基本的要件とし、さらに次の点 considering して入学者を広く受け入れる。

1. 大学院での学修に必要な能力(問題探究力、文献読解力、論理的思考力、作文・表現能力、コミュニケーション能力)をもっていること。
2. 研究科での専攻分野について基礎的な知識をもっていること。
3. 研究科の教育内容をよく理解した上で、本研究科での学修を強く望んでいること。

博士後期課程

【学位授与の方針】

人間情報学研究科は、博士後期課程において、所定の履修方法に従って12単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果が確認できた者に、「博士(学術)」の学位を授与する。

1. 人間情報学にかかわる高度で幅広い知識を有する。
2. 学術的および実社会の問題を独自の視点から捉える態度・能力を有する。
3. 学術的および実社会の問題の解決に貢献できる自立した研究能力を有する。

【教育課程編成・実施の方針】

人間情報学研究科は、博士後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学位授与の方針に定めた学修成果1及び2を達成することを主たる目的として、「人間情報学演習Ⅲ」及び「人間情報学演習Ⅳ」を置き、必修とする。
2. 学位授与の方針に定めた学修成果2及び3を達成することを主たる目的として、「論文指導」を置き必修とするとともに、研究指導を行う。

【入学者受け入れの方針】

人間情報学研究科は、本研究科の理念・目的を理解していることを基本的要件とし、さらに次の点 considering して入学者を広く受け入れる。

1. 大学院での学修に必要な高い水準の能力(問題探究力、文献読解力、論理的思考力、作文・表現能力、コミュニケーション能力)をもっていること。
2. 研究科での専攻分野について専門的な知識をもっていること。
3. 研究科の教育内容をよく理解した上で、本研究科での学修を強く望んでいること。

I. 博士前期課程・修士課程

一般選考・社会人特別選考

1. 募集定員

◇ 一般選考

研究科	専攻	修業年限	定員
文学研究科	英語英文学専攻	2年	10名
	ヨーロッパ文化史専攻		5名
	アジア文化史専攻		5名
経済学研究科	経済学専攻		8名
経営学研究科	経営学専攻		8名
法学研究科	法律学専攻		10名
工学研究科	機械工学専攻		8名
	電気工学専攻		8名
	電子工学専攻		8名
	環境建設工学専攻		8名
人間情報学研究科	人間情報学専攻	8名	

◇ 社会人特別選考

研究科	専攻	修業年限	定員
文学研究科	英語英文学専攻	2年	若干名
	ヨーロッパ文化史専攻		
	アジア文化史専攻		
経済学研究科	経済学専攻		
経営学研究科	経営学専攻		
法学研究科	法律学専攻		
工学研究科	機械工学専攻		
	電気工学専攻		
	電子工学専攻		
	環境建設工学専攻		
人間情報学研究科	人間情報学専攻		

※ その他、本学卒業見込者（一部の研究科では既卒者も含む）で一定の成績基準に達した者を対象とした「特別選考」があります。詳細は入試部アドミッションズ・オフィスに問い合わせてください。

2. 出願資格

◇ 一般選考

次のいずれかに該当する方です。

- (1) 大学を卒業した方および2023年3月までに卒業見込みの方
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された方および2023年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した方および2023年3月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した方および2023年3月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した方および2023年3月までに修了見込みの方
- (6) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した方および2023年3月までに修了見込みの方
- (7) 旧制学校等を修了した方
- (8) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した方および2023年3月までに修了見込みの方

(9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた方で、2023年3月末日までに22歳に達する方

※ 出願資格(9)は、おもに「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者など大学卒業資格を有しない方」が該当するため、事前に履歴書、最終学校の成績証明書、卒業証明書、その他の書類（最終学校卒業後の教育歴、研修・研究歴、職歴などを証明する書類）の提出を求め、本大学院が受験資格を審査（筆記試験・面接などを含む）します。したがって、出願資格(9)により出願しようとする方は、出願期間の始まる2週間前までに入試部アドミッションズ・オフィスへ申し出て、出願の可否を確認してください。

◇ 社会人特別選考

一般選考の出願資格のいずれかに該当し、かつ次のいずれかに該当する方です。

- (1) 企業、官公庁などに正規の職員として勤務し、在職のまま入学できる方
- (2) 大学卒業後、3年以上の社会人経験（主婦・主夫を含む）を有する方

※ 出願に際しては、出願前に必ず入試部アドミッションズ・オフィスへ申し出て、出願の可否を確認してください。

※ 大学院における標準の修了年限を超えての長期履修制度があります。詳細は29ページをご参照ください。

3. 出願手続

(1) 出願書類

各専攻によって提出書類が異なるものがあるので、熟読のうえ出願してください。

◇ 一般選考および社会人特別選考

- ① 入学志願書：本学所定の用紙
- ② 研究計画書：「7. 研究計画書作成上の注意」（13ページ）を参照のうえ作成したもの
- ③ 成績証明書：出身大学の学長または学部長が作成したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）
 国外の大学の場合、出身大学により正式に発行された、全ての成績が記載された full academic transcript を提出すること（発行日より3ヶ月以内のもの）
- ④ 卒業証明書または卒業見込証明書：出身大学の学長または学部長が作成したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）。最終学歴が大学院の場合は、併せて、修了証明書または修了見込証明書を提出すること
 国外の大学で卒業証明書または修了証明書の発行が出来ない場合、卒業証書または修了証書のコピーを提出すること。
- ⑤ 受験票：本学所定の用紙（受験票は本人へ郵送されるが、試験の数日前になっても届かない場合は、本学入試部アドミッションズ・オフィスに問い合わせること）
- ⑥ 写真：2枚（縦4 cm × 横3 cm）、脱帽上半身正面向き、3ヶ月以内に撮影したもの（入学志願書および写真カードの所定欄に貼付すること）
- ⑦ 振込済証明書(C票)：本学所定の入学検定料振込用紙にある「振込済証明書（C票）」（金融

機関収納印のあるもの)を①の入学志願書の所定欄に貼付すること

- ⑧ 受験票送付用封筒：住所・氏名を記入のうえ郵便切手（25g定形速達料金分）を貼ったもの

◇ 外国人の方

[1] 出願資格の事前審査のための書類

次の書類を準備し、出願期間の始まる2週間前までに入試部アドミッションズ・オフィスへ申し出て、出願の可否を確認してください。

- ① 外国人出願事前審査申請書（入学志願書）
- ② 成績証明書：出身大学により正式に発行されたもの（原本、コピー不可）（発行日より3ヶ月以内のもの）
国外の大学の場合、出身大学により正式に発行された、全ての成績が記載された full academic transcript を提出すること（発行日より3ヶ月以内のもの）
- ③ 卒業証明書または修了見込証明書：
 (ア) 卒業証明書は、出身大学により正式に発行されたもの、または卒業証書のコピー
 (イ) 修了見込証明書は、出身大学により正式に発行され、学長または学部長が署名したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）
 (ウ) 海外からの応募の際には別途お問い合わせください

[2] 出願のための書類

出願が認められた志願者は、上記①②③に加えて次の書類を提出してください。

- ④ 入学志願書：本学所定の用紙
- ⑤ 研究計画書：「7. 研究計画書作成上の注意」（13ページ）を参照のうえ作成したもの
- ⑥ 受験票：本学所定の用紙（受験票は本人へ郵送されるが、試験の数日前になっても届かない場合は、本学入試部アドミッションズ・オフィスにお問い合わせること）
- ⑦ 写真：2枚（縦4cm×横3cm）、脱帽上半身正面向き、3ヶ月以内に撮影したもの（入学志願書および写真カードの所定欄に貼付すること）
- ⑧ 振込済証明書(C票)：本学所定の入学検定料振込用紙にある「振込済証明書（C票）」（金融機関収納印のあるもの）を④の入学志願書の所定欄に貼付すること
- ⑨ パスポート・在留カードの写し（在留資格を有していない方は出願時においてはパスポートのみでも可とし、在留カードは合格後に提出するものとします）
- ⑩ 住民票の写し（在留カードの交付後に提出してください）
- ⑪ 日本語能力試験〈JLPT：N1〉の成績通知書またはこれに準ずるもの（日本の大学を卒業した者は提出不要）。工学研究科は、日本語能力試験〈JLPT：N2〉の成績通知書または十分な日本語能力を有することを証明できるもの
- ⑫ 受験票送付用封筒：住所・氏名を記入のうえ郵便切手（25g定形速達料金分）を貼ったもの

※ 出願に際し提出された書類は、入学者選抜にのみ使用し、他に使用することはありません。また、出願書類および入学検定料は、事情のいかんを問わず返還いたしません。

(2) 入学検定料 **33,000円**

本学所定の入学検定料振込用紙により金融機関（但し、ゆうちょ銀行を除く）の窓口で文書扱いにより払い込みください。

※ATMは使用しないでください

(3) 出願期間

日程	出 願 期 間
秋 季	2022年 8月26日（金）～9月2日（金）15時必着
春 季	2023年 1月13日（金）～1月20日（金）15時必着

(4) 出願書類の提出（郵送）先

日程	提 出（郵 送）先
秋 季	◎文学研究科・経済学研究科・経営学研究科・法学研究科 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィス TEL022-264-6455
	◎工学研究科 〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号 東北学院大学多賀城キャンパス学務係 TEL022-368-1119
	◎人間情報学研究科 〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号 東北学院大学泉キャンパス学務係 TEL022-375-1141
春 季	◎文学研究科・経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・工学研究科・人間情報学研究科 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィス TEL022-264-6455

※出願書類の受付時間は、土曜日・日曜日・祝日・その他本学が指定する日を除き、9時から17時（ただし、出願最終日は15時まで）です。郵送の場合は、必ず本学所定の封筒を使用し、郵送先住所記入のうえ簡易書留速達郵便にて出願期間中に必着するようにしてください。

4. 試験場・試験日・合格発表

(1) 試験場

日程	研 究 科	試 験 場
秋 季	文学研究科・経済学研究科・経営学研究科・法学研究科	土樋キャンパス
	工学研究科	多賀城キャンパス
	人間情報学研究科	泉キャンパス
春 季	文学研究科・経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・工学研究科・人間情報学研究科	土樋キャンパス

(2) 試験日・合格発表日

日程	試 験 日	合 格 発 表
秋 季	2022年 9月22日（木）	2022年10月7日（金）13時
春 季	2023年 2月16日（木）	2023年 2月27日（月）13時

※両日とも合格者の受験番号を大学構内（各キャンパス）に掲示するとともに、ホームページ上で発表します。また、合格者には速達で合格通知書を郵送します。なお、合格に関する電話での問い合わせには一切応じませんのでご了承ください。

5. 試験科目・試験時間

一般選考

◆文学研究科

	外国語科目	専門科目	面接・口述
英語英文学専攻	1. 英語 〔 英文読解 英文和訳 和文英訳 〕	1. 英米文学 2. 英語学・言語学 3. 英語教育学・応用言語学 ※上記科目より1科目選択	出願書類に基づき 専門分野に関する 基礎学力について 行う
試験時間	9:00~10:40	11:00~12:40	13:30~
ヨーロッパ文化史専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)	1. キリスト教史領域 2. 西洋史領域 ※上記科目より1科目選択	出願書類に基づき 専門分野に関連する 基礎学力について 行う
試験時間	9:00~10:30	11:00~12:30	13:30~
アジア文化史専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 4. 中国語 5. 日本語(外国人留学生のみ) ※上記科目より1科目選択 ※日本語以外の外国語科目は辞 書持込可(電子辞書は不可)	1. 日本史 2. アジア史 3. 考古学 4. 民俗学 ※上記科目より1科目選択	出願書類に基づき 専門分野に関連する 基礎学力について 行う
試験時間	9:00~10:30	11:00~12:30	13:30~

◆経済学研究科

	外国語科目	専門科目	面接・口述
経済学専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書1冊持込可（電子辞書は不可）	ミクロ経済学 マクロ経済学 社会経済論 財政学 産業組織論 社会保障論 経済統計学 加齢経済論 経済地理学 環境経済論 経済史 地域社会論 経済学史 国際経済論 金融論 国際金融論 社会政策論 都市経済学 経済発展論 公共経済論 現代社会論 日本経済論 ※上記科目より2科目選択 （入学後の専攻科目とそれに近い科目を選択すること）	出願書類の審査および筆記試験で選択したそれぞれの専門科目について行う
試験時間	9:00~10:00	10:30~12:30	13:30~

◆経営学研究科

	外国語科目	専門科目	面接・口述
経営学専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 4. 日本語（外国人留学生のみ） ※上記科目より1科目選択 ※外国人留学生は「日本語」科目を必須とし、他に1科目を選択 ※日本語以外の外国語科目は辞書1冊持込可（電子辞書は不可）	経営学 経営史 経営管理論 情報処理論 経営組織論 国際経営論 人的資源管理論 ファイナンス 管理会計論 原価計算論 税務会計論 租税法 監査論 商業史	出願書類の審査および筆記試験で選択したそれぞれの専門科目について行う
試験時間	9:00~10:00	10:30~12:30	13:30~

◆法学研究科

	外国語科目	専門科目	面接・口述
法律学専攻（法学研究コース）	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可（電子辞書は不可）	憲法 行政法 民法 商法 知的財産法 民事訴訟法 労働法 刑法 刑事訴訟法 国際法 法哲学 政治学 行政学 国際政治学 政治思想史 ※上記科目より2科目選択 ※六法貸与	専攻希望科目および研究計画について行う
試験時間	9:00～10:30	11:00～12:30	13:30～

	専門科目・外国語科目	面接・口述		
法律学専攻（法学専修コース）	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%; vertical-align:top;"> (専門科目) 憲法 行政法 民法 商法 知的財産法 民事訴訟法 労働法 刑法 刑事訴訟法 国際法 法哲学 政治学 行政学 国際政治学 政治思想史 </td> <td style="width:50%; vertical-align:top;"> (外国語) 英語 ドイツ語 フランス語 </td> </tr> </table> ※上記科目より2科目選択 ただし、外国語からの選択は、1科目までとする ※六法貸与 ※外国語辞書持込可（電子辞書は不可）	(専門科目) 憲法 行政法 民法 商法 知的財産法 民事訴訟法 労働法 刑法 刑事訴訟法 国際法 法哲学 政治学 行政学 国際政治学 政治思想史	(外国語) 英語 ドイツ語 フランス語	専攻希望科目および研究計画について行う
(専門科目) 憲法 行政法 民法 商法 知的財産法 民事訴訟法 労働法 刑法 刑事訴訟法 国際法 法哲学 政治学 行政学 国際政治学 政治思想史	(外国語) 英語 ドイツ語 フランス語			
試験時間	11:00～12:30	13:30～		

◆工学研究科

	外国語科目	専門科目		面接・口述	
機械工学専攻	英語	材料力学	材料工学	出願書類に基づき 専門分野に関する 基礎学力および研究 計画について行 う	
		熱・流体力学	制御工学		
		機械力学	メカトロニクス		
		工作・機構学	生体工学		
		情報数理			
		※上記科目より4科目選択			
試験時間	9:00~10:00	10:30~12:30		13:30~	
電気工学専攻	英語	基礎科目		出願書類に基づき 専門分野に関する 基礎学力および研究 計画について行 う	
		電磁気学Ⅰ (静電現象、誘電体)	電力制御分野		
		電磁気学Ⅱ (電磁波)	情報通信分野		
		電気回路学Ⅰ (三相交流回路)	電子材料分野		
電気回路学Ⅱ (二端子回路、 基礎電子回路)					
電磁気基礎 (磁気現象、磁性体)					
情報通信基礎 (情報理論)					
		※基礎科目より3科目と専門科目より1科目選択			
試験時間	9:00~10:00	10:30~12:30		13:30~	
電子工学専攻	英語	電磁気学Ⅰ (静電現象、誘電体)	電気回路学Ⅰ (交流回路)	電子回路学 電子数学	出願書類に基づき 専門分野に関する 基礎学力および研究 計画について行 う
		電磁気学Ⅱ (磁気現象、磁性体)	電気回路学Ⅱ [二端子対回路(四端子回路)、分布定数回路、過渡現象]	電子計測学 電子材料学	
		情報数理学		電子物理学 情報処理学	
		※上記科目より1科目選択	※上記科目より1科目選択	※上記科目より2科目選択	
試験時間	9:00~10:00	10:30~12:30		13:30~	
環境建設工学専攻	英語	構造力学	環境化学	数学基礎 (微分積分・線形代数)	出願書類に基づき 専門分野に関する 基礎学力および研究 計画について行 う
		土質力学	環境工学		
		鉄筋コンクリート・ コンクリート工学	建築計画		
		水理学	建築設備		
		※上記科目より4科目選択			
試験時間	9:00~10:00	10:30~12:30		13:30~	

◆人間情報学研究科

	外国語科目	専門科目	面接・口述
人間情報学専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)	社会学 心理学 教育学 言語学 人類学 物理学 生物学 コンピュータ科学 数学 スポーツ科学 地理学 環境科学 日本語教育学 ※上記科目より1科目選択	提出書類に関して行う
試験時間	9:00~10:30	11:00~12:30	13:30~

社会人特別選考

◆全研究科・専攻(共通)

	面接・口述
全研究科・専攻	出願書類(論文、研究計画書等)に基づき、専門分野に関する基礎学力について行う
試験時間	9:30~

6. 入学手続

(1) 秋季試験合格者

・提出書類

①誓約書 ②学生証用顔写真貼付台紙

写真（縦4cm×横3cm）1枚を②に貼付してください。

・手続日

上記の書類を2022年11月11日（金）15時までに提出してください。

学生納付金等関係書類は11月下旬に送付予定です。2022年12月1日（木）までに所定の手続きにより納入してください。

(2) 春季試験合格者

・提出書類

①誓約書 ②学生証用顔写真貼付台紙 ③学生納付金振込済証明書（C票）

写真（縦4cm×横3cm）1枚を②に貼付してください。

・手続日

学生納付金を2023年3月9日（木）までに所定の手続きにより納入した上で、①～③の書類を2023年3月9日（木）15時までに提出してください。

(3) 入学手続書類の提出（郵送）先

「出願書類の提出（郵送）先」（6ページ）と同じです。

※期日までに手続きを完了しない場合は、入学の意思がないものとみなします。

7. 研究計画書作成上の注意

◆記載する項目について

1. 研究課題（研究課題設定の背景と理由）：問題意識についてできるだけ詳細に記載すること
2. 予定している研究の方法などを記載すること
3. 研究課題に関連ある過去の研究上の業績を（参考文献などではなく本人の業績がある場合）年次別に課題、研究年月を箇条書きに記載すること（業績がない場合は記載の必要なし）

◆書式について

1. A4判、横書、1行40文字、36行、文書作成ソフト（手書き不可）で作成すること〔ただし英語英文学専攻の社会人特別選考（該当者のみ提出）は下表の書式に基づき作成すること〕
2. 文字数を表紙に記載すること（タイトル、氏名、参考文献はカウントしない）

専攻	一般選考	社会人特別選考
英語英文学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画（英文で作成） ・1行70ストローク、25行 2枚以上
ヨーロッパ文化史専攻	※学部卒業論文またはそれに準ずる論文がある場合は併せて提出（写し）	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度
アジア文化史専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 ※学部卒業論文またはそれに準ずる論文がある場合は併せて提出（写し）	
経済学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度
経営学専攻		
法学専攻		
機械工学専攻	不要	
電気工学専攻		
電子工学専攻		
環境建設工学専攻		
人間情報学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究計画とそれに関する任意のテーマ ・4000～12000字程度

推薦選考

学業および人物ともに優れており、在籍している大学の学部長または高等専門学校の学校長から推薦され、合格した場合には必ず入学する意思のある方を対象とした選考です。

※なお、本学学生は、本制度とは異なる推薦制度の対象となることができます。詳細は、入試部アドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

1. 募集定員

研究科	専攻	修業年限	定員
工学研究科	機械工学専攻	2年	若干名
	電気工学専攻		
	電子工学専攻		
	環境建設工学専攻		
人間情報学研究科	人間情報学専攻		

2. 出願資格

専攻	出願資格
機械工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 環境建設工学専攻	<p>(1)2023年3月に大学を卒業見込みの方、または高等専門学校の修業年限2年の専攻科を2023年3月に修了見込みの方であって、学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与される見込みの方</p> <p>(2)学業および人物ともに優れており、4年制大学にあつては主要科目の学業成績の平均点が80点（GPA2.5）以上の者、高等専門学校にあつては4年次～5年次および専攻科における主要科目の学業成績の平均点が80点以上の方</p> <p>(3)大学学部長または高等専門学校長から推薦され、合格した場合には必ず入学する意思のある方</p>
人間情報学専攻	<p>(1)2023年3月に大学を卒業見込みの方、または高等専門学校の修業年限2年の専攻科を2023年3月に修了見込みの方であって、学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与される見込みの方</p> <p>(2)学業および人物ともに優れており、4年制大学にあつては学部3年次までの全科目（資格科目と放棄科目は除く）の学業成績の平均点が85点以上かつ学部3年次までの累積GPAが3.0以上の方、高等専門学校にあつては4年次～5年次および専攻科1年次における全科目の学業成績の平均点が85点以上の方</p> <p>(3)大学学部長または高等専門学校長から推薦され、合格した場合には必ず入学する意思のある方</p>

3. 出願手続

(1) 出願書類

- ① 入学志願書：本学所定の用紙
- ② 研究計画書

専攻	作成方法
機械工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 環境建設工学専攻	A4用紙に1200～1400字で記述のこと。なお、研究計画の作成にあたっては本学希望指導教員と協議することが望ましい
人間情報学専攻	A4用紙に1200～1400字で記述のこと。なお、研究計画の作成にあたっては本研究科希望指導教員と協議することが望ましい

- ③ 推薦書：本学所定の用紙
- ④ 成績証明書：発行日より3ヶ月以内のもの
- ⑤ 卒業見込・修了見込証明書：発行日より3ヶ月以内のもの
- ⑥ 受験票：本学所定の用紙（受験票は本人へ郵送されるが、試験の数日前になっても届かない場合は、本学入試部アドミッションズ・オフィスに問い合わせること）
- ⑦ 写真：2枚（縦4cm×横3cm）、脱帽上半身正面向き、3ヶ月以内に撮影したもの（入学志願書および写真カードの所定欄に貼付すること）
- ⑧ 振込済証明書(C票)：本学所定の入学検定料振込用紙にある「振込済証明書(C票)」(金融機関取納印のあるもの)を①の入学志願書の所定欄に貼付すること
- ⑨ 受験票送付用封筒：住所・氏名を記入のうえ郵便切手(25g定形速達料金分)を貼ったもの

(2) 入学検定料 **33,000円**

本学所定の入学検定料振込用紙により金融機関（但し、ゆうちょ銀行を除く）の窓口で文書扱いにより払い込みください。

※ATMは使用しないでください

(3) 出願期間・出願書類の提出（郵送）先

出願期間	A日程	2022年8月26日(金)～9月2日(金)		9時～17時 (ただし、出願最終日は15時まで)
	B日程(人間情報学専攻のみ実施)	2023年1月13日(金)～1月20日(金)		
提出(郵送)先	工学研究科	〒985-8537 多賀城市中央一丁目13-1 東北学院大学 多賀城キャンパス学務係		
	人間情報学研究科	A日程	〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1-1 東北学院大学 泉キャンパス学務係	
		B日程	〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィス	

4. 試験日・試験場

試験日	A日程	2022年9月22日(木) 9時30分より	
	B日程 (人間情報学専攻のみ実施)	2023年2月16日(木) 9時30分より	
試験場	工学研究科	多賀城キャンパス	
	人間情報学研究科	A日程	泉キャンパス
		B日程	土樋キャンパス

5. 選考方法

専攻	選考方法
機械工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 環境建設工学専攻	出願書類の審査、以下に示す小論文の記述および面接により総合的に判断する。 (1)4年制大学を卒業見込みの者 与えられた課題に関する小論文 (2)高等専門学校専攻科を修了見込みの者 遂行した専攻科特別研究の概要に関する記述を行う小論文
人間情報学専攻	学業成績、研究計画書、推薦書および面接(口述試験を含む)の結果により総合的に判断する。

6. 合格発表

A日程 2022年10月7日(金) 13時

B日程 2023年2月27日(月) 13時

両日とも合格者の受験番号を大学構内(各キャンパス)に掲示するとともに、ホームページ上で発表します。また、合格者には速達で合格通知書を郵送します。なお、合否に関する電話での問い合わせには一切応じませんのでご了承ください。

7. 入学手続

(1) A日程合格者

・提出書類

①誓約書 ②学生証用顔写真貼付台紙

写真（縦4cm×横3cm）1枚を②に貼付してください。

・手続日

上記の書類を2022年11月11日（金）15時までに提出してください。

学生納付金等関係書類は11月下旬に送付予定です。2022年12月1日（木）までに所定の手続きにより納入してください。

(2) B日程合格者

・提出書類

①誓約書 ②学生証用顔写真貼付台紙 ③学生納付金振込済証明書（C票）

写真（縦4cm×横3cm）1枚を②に貼付してください。

・手続日

学生納付金を2023年3月9日（木）までに所定の手続きにより納入した上で、①～③の書類を2023年3月9日（木）15時までに提出してください。

(3) 入学手続書類の提出（郵送）先

「出願書類の提出（郵送）先」（6ページ）と同じです。

※期日までに手続きを完了しない場合は、入学の意思がないものとみなします。

Ⅱ. 博士後期課程

一般選考・社会人特別選考

1. 募集定員

◇ 一般選考

研究科	専攻	修業年限	定員
文学研究科	英語英文学専攻	3年	3名
	ヨーロッパ文化史専攻		2名
	アジア文化史専攻		2名
経済学研究科	経済学専攻		2名
法学研究科	法律学専攻		2名
工学研究科	機械工学専攻		2名
	電気工学専攻		2名
	電子工学専攻		2名
	環境建設工学専攻		2名
人間情報学研究科	人間情報学専攻		3名

◇ 社会人特別選考

研究科	専攻	修業年限	定員
文学研究科	英語英文学専攻	3年	若干名
	ヨーロッパ文化史専攻		
	アジア文化史専攻		
経済学研究科	経済学専攻		
法学研究科	法律学専攻		
工学研究科	機械工学専攻		
	電気工学専攻		
	電子工学専攻		
	環境建設工学専攻		
人間情報学研究科	人間情報学専攻		

2. 出願資格

◇ 一般選考

次のいずれかに該当する方です。

- (1) 修士の学位や専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則第5条第2項に規定する専門職学位をいう。以下この条において同じ。）を有する方および2023年3月までに取得見込みの方
- (2) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された方および2023年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された方および2023年3月までに授与される見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された方および2023年3月までに授与される見込みの方
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された方および2023年3月までに授与される見込みの方
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した方で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた方
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた方で、2023年3月末日までに24歳に達する方

※ 出願資格(6)により出願しようとする方は、事前に履歴書、研究歴を証明する資料などの提

出を求め、出願資格について認定する。また、(7)により出願しようとする方は、事前に履歴書、論文、学会発表およびそれらの要旨などの提出を求め、本大学院が受験資格を審査する。なお、必要に応じて面接を行うことがある。したがって、これらにより出願しようとする方は、出願期間の始まる2週間前までに入試部アドミッションズ・オフィスへ申し出て、出願の可否を確認してください。

◇ 社会人特別選考

一般選考の出願資格のいずれかに該当し、かつ3年以上の社会人経験（主婦・主夫を含む）を有する方です。

※ 出願に際しては、出願前に入試部アドミッションズ・オフィスへ必ず問い合わせてください。

3. 出 願 手 続

(1) 出願書類

◇ 一般選考および社会人特別選考

- ① 入 学 志 願 書：本学所定の用紙
- ② 研 究 計 画 書：「7. 研究計画書作成上の注意」（27ページ）を参照のうえ作成したもの
- ③ 成 績 証 明 書：出身大学院の学長または研究科長が作成したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）。出願資格の(6)または(7)により出願する場合は、大学（学部）の成績証明書を提出すること
国外の大学の場合、出身大学により正式に発行された、全ての成績が記載された full academic transcript を提出すること（発行日より3ヶ月以内のもの）
- ④ 修了証明書または修了見込証明書：出身大学院の学長または研究科長が作成したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）。出願資格の(6)または(7)により出願する場合は、大学（学部）の卒業証明書を提出すること
国外の大学で修了証明書の発行が出来ない場合、修了証書のコピーを提出すること
- ⑤ 修士論文またはこれに準ずる論文：次の点に注意すること
 - (ア) 修士の学位を有する者は、必ず修士論文を提出すること
ただし、法学研究科の出願者については、その者の修了した大学院において修士号の取得の要件とされていた著作物を修士論文に代えて提出することができる。また、法学研究科の出願者のうち、法務博士の学位を有する者は、修士論文またはこれに準じる論文を提出する必要がない。
 - (イ) 修士論文の写しを提出する場合は、修士論文を提出した大学院の学長または大学院研究科長による証明を添付すること（様式は問わない）
 - (ウ) 提出された論文等は口述試験終了後に返却する
- ⑥ 受 験 票：本学所定の用紙（受験票は本人へ郵送されるが、試験の数日前になっても届かない場合は、本学入試部アドミッションズ・オフィスに問い合わせること）
- ⑦ 写 真：2枚（縦4 cm × 横3 cm）、脱帽上半身正面向き、3ヶ月以内に撮影

- したもの（入学志願書および写真カードの所定欄に貼付すること）
- ⑧ 振込済証明書(C票)：本学所定の入学検定料振込用紙にある「振込済証明書（C票）」（金融機関収納印のあるもの）を①の入学志願書の所定欄に貼付すること
 - ⑨ 受験票送付用封筒：住所・氏名を記入のうえ郵便切手（25g定形速達料金分）を貼ったもの
 - ⑩ 業務報告書（社会人特別選考出願者のみ提出）：本学所定の用紙

◇ 外国人の方

[1] 出願資格の事前審査のための書類

次の書類を準備し、出願期間の始まる2週間までに入試部アドミSSIONズ・オフィスへ申し出て、出願の可否を確認してください。

- ① 外国人出願事前審査申請書（入学志願書）
- ② 成績証明書：出身大学院により正式に発行されたもの（原本、コピー不可）
国外の大学の場合、出身大学により正式に発行された、全ての成績が記載された full academic transcript を提出すること（発行日より3ヶ月以内のもの）
- ③ 修了証明書または修了見込証明書：
 - (ア) 修了証明書は、出身大学院により正式に発行されたもの、または修了証書と修士学位証書のコピー
 - (イ) 修了見込証明書は、出身大学院により正式に発行され、学長または研究科長が署名したもの（発行日より3ヶ月以内のもの）
 - (ウ) 海外からの応募の際には別途お問い合わせください

[2] 出願のための書類

出願を認められた志願者は、上記①②③に加えて次の書類を提出してください。

- ④ 入学志願書：本学所定の用紙
- ⑤ 研究計画書：「7. 研究計画書作成上の注意」（27ページ）を参照のうえ作成したもの
- ⑥ 修士論文またはこれに準ずる論文：次の点に注意すること
 - (ア) 修士の学位を有する者は、必ず修士論文を提出すること
 - (イ) 修士論文の写しを提出する場合は、修士論文を提出した大学院の学長または大学院研究科長による証明を添付すること（様式は問わない）
 - (ウ) 法学研究科への出願者は、「論文要旨」（A4判、400字詰原稿用紙10枚以内）の提出で代えることができる
 - (エ) 提出された論文は、口述試験終了後に返却する
- ⑦ 受験票：本学所定の用紙（受験票は本人へ郵送されるが、試験の数日前になっても届かない場合は、本学入試部アドミSSIONズ・オフィスにお問い合わせること）
- ⑧ 写真：2枚（縦4cm×横3cm）、脱帽上半身正面向き、3ヶ月以内に撮影したもの（入学志願書および写真カードの所定欄に貼付すること）
- ⑨ 振込済証明書(C票)：本学所定の入学検定料振込用紙にある「振込済証明書（C票）」（金融機関収納印のあるもの）を④の入学志願書の所定欄に貼付すること

- ⑩ パスポート・在留カードの写し（在留資格を有していない方は出願時においてはパスポートのみでも可とし、在留カードは合格後に提出するものとします）
- ⑪ 住民票の写し（在留カードの交付後に提出してください）
- ⑫ 日本語能力試験〈J L P T : N 1〉の成績通知書またはこれに準ずるもの（日本の大学を卒業した者は提出不要）。工学研究科は、日本語能力試験〈J L P T : N 2〉の成績通知書または十分な日本語能力を有することを証明できるもの。
※ ただし、研究活動の遂行上、特に支障はきたさないと研究科が認定した場合、日本語能力試験の成績通知書は必要としない。
- ⑬ 受験票送付用封筒：住所・氏名を記入のうえ郵便切手（25 g 定形速達料金分）を貼ったもの
- ⑭ 業務報告書（社会人特別選考出願者のみ提出）：本学所定の用紙

※ 出願に際し提出された書類は、入学者選抜にのみ使用し、他に使用することはありません。また、出願書類（論文を除く）および入学検定料は、事情のいかんを問わず返還いたしません。

(2) 入学検定料 **33,000円**

本学所定の入学検定料振込用紙により金融機関（但し、ゆうちょ銀行を除く）の窓口で文書扱いにより払い込みください。

※ ATMは使用しないでください

(3) 出願期間 2023年1月13日（金）～1月20日（金）15時必着

(4) 出願書類の提出（郵送）先

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1

東北学院大学

入試部アドミッションズ・オフィス

※出願書類の受付時間は、土曜日・日曜日・祝日・その他本学が指定する日を除き、9時から17時（ただし、出願最終日は15時まで）です。郵送の場合は、必ず本学所定の封筒を使用し、郵送先住所記入のうえ簡易書留速達郵便にて出願期間中に必着するようにしてください。

4. 試験場・試験日・合格発表

(1) 試験場

土樋キャンパス

(2) 試験日・合格発表日

試 験 日	合 格 発 表
2023年2月17日（金）	2023年2月27日（月）13時

※合格者の受験番号を大学構内（各キャンパス）に掲示するとともに、ホームページ上で発表します。また、合格者には速達で合格通知書を郵送します。なお、合否に関する電話での問い合わせには一切応じませんのでご了承ください。

5. 試験科目・試験時間

一般選考

◆文学研究科

	外国語科目		専門科目	面接・口述
英語英文学専攻	第一外国語科目	1. 英語 (英文読解 英文和訳 和文英訳)	1. 英米文学 2. 英語学・言語学 3. 英語教育学・応用言語学	修士論文等および研究計画書に基づき専門分野に関する基礎学力について行う
	第二外国語科目	1. ドイツ語 2. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)	※上記科目より1科目選択	
試験時間	第一外国語科目 9:00~10:40 第二外国語科目 13:30~14:40		11:00~12:40	15:00~
ヨーロッパ文化史専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)		1. キリスト教史領域 2. 西洋史領域 ※上記科目より1科目選択	修士論文等および研究計画書に基づき専門分野に関連する基礎学力について行う
	9:00~10:40		11:00~12:40	
アジア文化史専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 4. 中国語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)		出願資格(6)あるいは(7)に該当する者、修士論文等を提出できない者についてのみ実施 1. 日本史 2. アジア史 3. 考古学 4. 民俗学 ※上記科目より1科目選択	修士論文等および研究計画書に基づき専門分野に関連する基礎学力について行う
	9:00~10:30		11:00~12:30	

◆経済学研究科

	外国語科目	面接・口述
経済学専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書1冊持込可（電子辞書は不可）	出願書類の審査および修士論文等について行う
試験時間	9:00～10:30	11:00～

◆法学研究科

	外国語科目	面接・口述
法学専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可（電子辞書は不可）	修士論文等および研究計画について行う
試験時間	9:00～10:30	11:00～

※法務博士の学位を有することで受験資格を得ている者については、次のような選抜方法とする。

	外国語科目	専門科目	面接・口述
法学専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可（電子辞書は不可）	憲法 行政法 民法 商法 知的財産法 労働法 民事訴訟法 刑法 刑事訴訟法 国際法 法哲学 政治学 行政学 国際政治学 政治思想史 ※上記科目の中から、主に研究しようとする科目を1科目選択 ※六法貸与	研究計画および専門的知見について行う
試験時間	9:00～10:30	11:00～12:30	13:30～

◆工学研究科

	英 語	論 文	面接・口述
全専攻	・英文和訳 ・和文英訳	各人の研究主題について	各専攻の基礎的知識、修士論文および出願書類について行う
試験時間	9:00~10:20	10:40~12:40	13:30~

◆人間情報学研究科

	外国語科目	専門科目	面接・口述
人間情報学専攻	1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可)	出願資格(3)あるいは(4)により出願した場合のみ、志望分野に関して行う	修士論文等および研究計画書を中心に行う
試験時間	9:00~10:30	11:00~12:30	13:30~

社会人特別選考

◆文学研究科・経済学研究科・法学研究科・工学研究科・人間情報学研究科

研究科	専攻	筆記試験	面接・口述試験
文学研究科	英語英文学専攻	出願資格(6)あるいは(7)により出願する場合は、志望分野に関して行う 9:00~10:30	修士論文等および研究計画書を中心に行う 11:00~
	ヨーロッパ文化史専攻	実施せず	修士論文等および研究計画書に基づき、専門分野に関連する基礎学力について行う 9:30~
	アジア文化史専攻	実施せず	修士論文等および研究計画書に基づき、専門分野に関連する基礎学力について行う 9:30~
経済学研究科	経済学専攻	志望分野に関する外国語の試験 1. 英語 2. ドイツ語 3. フランス語 ※上記科目より1科目選択 ※辞書持込可(電子辞書は不可) 9:00~10:30	出願書類の審査および修士論文等について行う 11:00~
法学研究科	法律学専攻	出願資格(6)あるいは(7)により出願する場合は、志望分野に関して行う 9:00~10:30	修士論文等および研究計画書を中心に行う 11:00~
工学研究科	機械工学専攻	出願資格(6)あるいは(7)により出願する場合は、志望分野に関して行う 9:00~10:30	修士論文等および研究計画書を中心に行う 11:00~
	電気工学専攻		
	電子工学専攻		
	環境建設工学専攻		
人間情報学研究科	人間情報学専攻	出願資格(6)あるいは(7)により出願する場合は、志望分野に関して行う 9:00~10:30	修士論文等および研究計画書を中心に行う 11:00~

6. 入学手続

・提出書類

①誓約書 ②学生証用写真台紙 ③学生納付金振込済証明書（C票）

写真（縦4 cm ×横3 cm）1枚を②に貼付してください。

・手続日

学生納付金を2023年3月9日（木）までに所定の手続きにより納入した上で、①～③の書類を2023年3月9日（木）15時までに提出してください。

●入学手続書類の提出（郵送）先

「出願書類の提出（郵送）先」（21ページ）と同じです。

※期日までに手続きを完了しない場合は、入学の意思がないものとみなします。

7. 研究計画書作成上の注意

◆記載する項目について

1. 研究課題（研究課題設定の背景と理由）：問題意識についてできるだけ詳細に記載すること
2. 予定している研究の方法などを記載すること
3. 研究課題に関連ある過去の研究上の業績を（参考文献等ではなく本人の業績がある場合）年次別に課題、研究年月を箇条書きに記載すること（業績がない場合は記載の必要なし）

◆書式について

1. A4判、横書、1行40文字、36行、文書作成ソフト（手書き不可）で作成のこと（ただし英語英文学専攻の社会人特別選考は下表の書式に基づき作成すること）
2. 文字数を表紙に記載すること（タイトル、氏名、参考文献はカウントしない）

専 攻	一 般 選 考	社会人特別選考
英 語 英 文 学 専 攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画（英文で作成） ・1行70ストローク、25行 2枚以上
ヨーロッパ文化史専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研究主題とそれに関する研究計画 ・1200～2000字程度 	
アジア文化史専攻		
経 済 学 専 攻		
法 律 学 専 攻		
機 械 工 学 専 攻		
電 気 工 学 専 攻		
電 子 工 学 専 攻		
環 境 建 設 工 学 専 攻		
人 間 情 報 学 専 攻		

◇学生納付金等〔2022年度参考〕

(単位：円)

		文・経済・経営・法学研究科		工学研究科		人間情報学研究科	
		本学卒業の入学者	本学以外からの入学者	本学卒業の入学者	本学以外からの入学者	本学卒業の入学者	本学以外からの入学者
学生納付金	入学金※1	—	270,000	—	270,000	—	270,000
	授業料	617,000	617,000	640,000	640,000	640,000	640,000
	施設設備資金	180,000	180,000	230,000	230,000	220,000	220,000
	実習料	—	—	95,000	95,000	—	—
	教育充実費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	計	817,000	1,087,000	985,000	1,255,000	880,000	1,150,000
諸会費	後援会費	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
	同窓会入会費※2	—	3,000	—	3,000	—	3,000
	同窓会費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	学術研究会費	800	800	—	—	800	800
	工学会費	—	—	500	500	—	—
	計	19,800	22,800	19,500	22,500	19,800	22,800
合計		836,800	1,109,800	1,004,500	1,277,500	899,800	1,172,800
入学時納付金		428,300	701,300	512,000	785,000	459,800	732,800
後期(10月)納付金		408,500	408,500	492,500	492,500	440,000	440,000

- (1) 2023年度入学生については、上記の金額が改定されることがあります。
- (2) ※1印の入学金は入学時だけの納入となり、入学時納付金に含まれています。入学年度後期の納付金は入学後10月に納入することになります。本学出身者（本学学部卒業の入学者、本学大学院のいずれかの課程を修了し、修了した課程とは異なる課程への入学者、または本学大学院のいずれかの課程を退学し、同一の課程に再入学した者）は入学金免除となります。
- (3) ※2印の同窓会入会費は、本学出身者（中学、高校、大学、大学院）は免除となります。
- (4) 本学学生納付金はスライド制を導入しているため、在学期間中（翌年度以降）に改定されることがあります。
- (5) 入学翌年度からの学生納付金は、前期（5月）と後期（10月）の2期に分けて納入することになります。

◇個人情報について

願書時においてご記入いただいた個人情報および試験結果については、「学校法人東北学院個人情報保護規程」にそって厳重に管理します。

以下の場合を除き、個人情報をどのような形式であれ利用することはありません。

- 入学試験実施（出願処理、受験票発送及び入学試験実施）、合格者発表、入学までの諸手続きにおいて利用することがあります。
- 入学生の入試結果を、本学における教育の目的で利用することがあります。その場合には、統計データとしての処理を主とし、個人情報については、学内規程により特に許可された場合のみ、厳しい管理基準の遵守のもとに、当該学部等に提供することとします。

◇長期履修制度

「長期履修制度とは」

本学大学院では、職業を有する方や、育児や介護などで研究時間の制約を受ける方などを対象に入学時の環境に応じて在学年限の範囲内（博士課程前期課程・修士課程4年、博士課程後期課程6年）で指導教員と相談のうえ、1年単位で長期履修期間を定め、計画的に教育課程を履修し修了することが可能となる制度を実施しています。また長期履修期間の変更も1回することができます。

「いつ申請するのか」

新年度の授業開始1ヶ月前までに申請書に記入して申請してください。長期履修の適否が決まり次第通知します。

「学納金はどうなるのか」

学納金は標準修業年限（博士課程前期課程・修士課程2年、博士課程後期課程3年）分に相当する学生納付金を、長期履修期間に応じて分割納付することとなります。

長期履修を希望する方は、学務部教務課（022-264-6475）にお問い合わせください。

長期履修制度の学納金〔2022年度参考〕（文学・経済学・経営学・法学研究科の場合）

（単位：円）

区 分	学納金納付額				修了までの学納金総額
	1年目	2年目	3年目	4年目	
一般学生 （標準修業年限2年）	817,000	817,000			1,634,000
長期履修学生 （履修期間を4年とした場合）	408,500	408,500	408,500	408,500	1,634,000

※別途、入学金（初年度のみ）、諸会費の納入が必要となります。

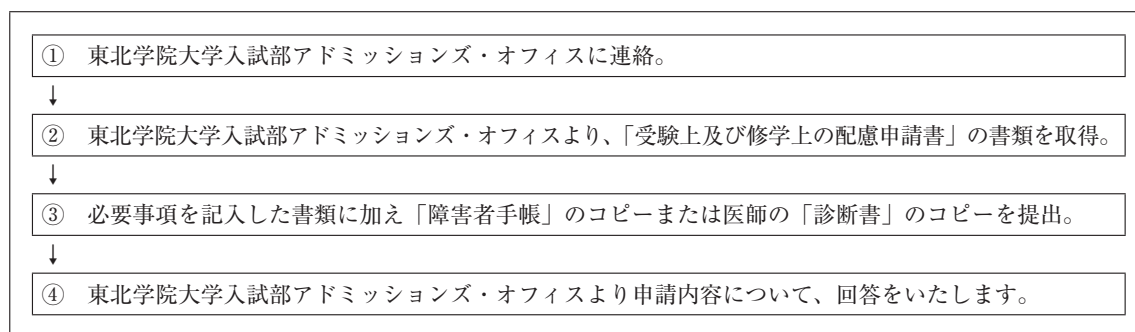
本学学生納付金は、スライド制を導入しているため、在学期間中（翌年度以降）に改正されることがあります。

◇受験上の配慮について

病気・負傷及び身体障がい、発達障がい、精神障がいなどのため、受験上の配慮が必要な場合、出願（入学検定料納入）の3ヶ月前までに必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。また、入学後の修学上の配慮を希望する場合も必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。場合によって、本学のキャンパスを見学することもお勧めいたします。

申請の流れは下表に従ってください。必要な場合、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。なお、ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともあり得ますので、予めご了承をお願いいたします。

【申請の流れ】



提出書類	「受験上及び修学上の配慮申請書」に加え、「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピー
申請期限	出願の3ヶ月前までに申し出てください。
連絡先	〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学 入試部アドミッションズ・オフィス TEL：022-264-6455 FAX：022-264-6377

2023年度

東北学院大学大学院入学志願書

(経営学専攻は修士課程)

研究科・専攻	研究科	専攻	課程	選考	※受験番号	
研究科・専攻	1. 文学	経営学	1. 博士前期課程 ・修士課程	1. 一般選考		
	2. 経済学					2. 博士後期課程
	3. 経営学	領域(ヨーロッパ文化史専攻のみ)		3. 推薦選考		
	4. 法学	コース(法律学専攻のみ)				
	5. 工学					
	6. 人間情報学					
氏名	フリガナ	生年月日		性別	1. 男 2. 女	都道府県名(外国人は国籍)
		西暦	年 月 日			
学生番号(東北学院大学卒業見込みの方)				<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> 写真貼付欄 上半身脱帽正面 3ヶ月以内に撮影のもの 縦4cm×横3cm </div>		
現住所(連絡先)	〒 - - 都道府県 市郡区		電話(- -) 携帯電話(- -)			
メールアドレス						
学歴	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. その他 高等学校 西暦 年 3月卒業					
	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. その他 大学 学部 学科 西暦 年 月 卒業・卒業見込					
	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. その他 大学 学部 学科 西暦 年 月 卒業・卒業見込					
	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. その他 大学院 研究科 専攻 西暦 年 月 修了・修了見込					
	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. その他 大学院 研究科 専攻 西暦 年 月 修了・修了見込					
職歴	西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日					
	西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日					
	西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日					
卒業論文題目名・既に提出(予定も含む)したものがある場合		修士論文題目名・既に提出(予定も含む)したものがある場合				
大学院入学後に予定の研究課題				希望する指導教員(現在大学院を担当している専任教員名)		
大学院修了後に希望する進路						
①		②		③		
受験科目	工学研究科受験生は未記入で提出すること。		専門科目		外国語科目	

◆学歴、職歴欄が不足する場合は裏面を利用すること。


※は記入不要

2023年度

東北学院大学大学院入学志願書

学 歴	
職 歴	西暦 年 月 ~ 西暦 年 月
	西暦 年 月 ~ 西暦 年 月
	西暦 年 月 ~ 西暦 年 月

振込済証明書（C票）貼付欄

<p>糊付けすること。</p> 

2023年度

※ 受験番号

※は記入不要

東北学院大学大学院 研究計画書（表紙）

博士前期課程・修士課程

◆出願する研究科・専攻（コース）の番号に○をつけること。

1. 文学研究科 英語英文学専攻
2. 文学研究科 ヨーロッパ文化史専攻
3. 文学研究科 アジア文化史専攻
4. 経済学研究科 経済学専攻
5. 経営学研究科 経営学専攻
6. 法学研究科 法律学専攻
 1. 法学研究コース
 2. 法学専修コース
7. 人間情報学研究科 人間情報学専攻

研究計画書文字数 _____ 字

出願者氏名	希望する指導教員（現在大学院を担当している専任教員名）

◆任意のA4判用紙を使用し、①研究課題（設定の背景と理由）、②予定している研究方法、③関連のある過去の研究上の業績（本人の業績があるときは）について所定の書式で作成の上、本表紙をつけて提出すること。

※ 受験番号

※は記入不要

東北学院大学大学院 研究計画書（表紙）

博士後期課程

◆出願する研究科・専攻の番号に○をつけること。

1. 文学研究科 英語英文学専攻
2. 文学研究科 ヨーロッパ文化史専攻
3. 文学研究科 アジア文化史専攻
4. 経済学研究科 経済学専攻
5. 法学研究科 法律学専攻
6. 工学研究科 機械工学専攻
7. 工学研究科 電気工学専攻
8. 工学研究科 電子工学専攻
9. 工学研究科 環境建設工学専攻
10. 人間情報学研究科 人間情報学専攻

研究計画書文字数 _____ 字

出願者氏名	希望する指導教員（現在大学院を担当している専任教員名）

社会人特別選考で出願する場合は、入試部アドミッションズ・オフィスへ出願前に必ず問い合わせること。

◆任意のA4判用紙を使用し、①研究課題（設定の背景と理由）、②予定している研究方法、③関連のある過去の研究上の業績（本人の業績があるときは）について所定の書式で作成の上、本表紙をつけて提出すること。

2023年度

社会人特別選考

※ 受験番号

※は記入不要

東北学院大学大学院 業務報告書（表紙）

博士後期課程

◆出願する研究科・専攻の番号に○をつけること。

1. 文学研究科 英語英文学専攻
2. 文学研究科 ヨーロッパ文化史専攻
3. 文学研究科 アジア文化史専攻
4. 経済学研究科 経済学専攻
5. 法学研究科 法律学専攻
6. 工学研究科 機械工学専攻
7. 工学研究科 電気工学専攻
8. 工学研究科 電子工学専攻
9. 工学研究科 環境建設工学専攻
10. 人間情報学研究科 人間情報学専攻

出願者氏名	希望する指導教員（現在大学院を担当している専任教員名）

別紙記載事項を承認します。

役職名

氏名

印

◆任意のA4判用紙を使用して①業務歴、②研究業績など（論文、口頭発表などがあれば、その題名、発表機関、発表年月日などを記入）について詳しく記入の上、所属長の承認を得た後、本表紙をつけて提出すること〔横書、文書作成ソフト（手書き不可）で作成のこと〕。

2023年度

東北学院大学大学院

外国人出願事前審査申請書（入学志願書）

志望研究科 Course of application				※受験番号		
Graduate School		Department	Course	専修科目 Major	指導教授 Adviser	
研究科		専攻	課程			
フリガナ 氏名 Full name			生年月日 Date of birth	19 年 月 日 Year Month Day	歳 Age	
ローマ字 姓(Family) 名(First) (Middle)			性別 Sex	婚姻の有無 Marital status		
In Roman letters			男 女 Male Female	既婚 未婚 Married Single		
帰省先 Home Address			国籍 Nationality			
在留資格 Status of residence				写真 最近撮影した物 Please attach a recent photo of yourself, fullface and bare-headed 4 cm × 3 cm		
◆入国年月日 Date of Entry		◆在留期間満了日 Date of Expiration				
年 Year 月 Month 日 Day	年 Year 月 Month 日 Day	() () ()	() () ()			
連絡先住所（日本国内住所） Present address (In Japan)						
〒						
電話 (Telephone) () 携帯 (Mobile) - -						
学歴（小学校から記入） Educational Background (From elementary school)			入学年月日 Date of entrance	卒業年月日 Date of graduation	年数 Period of attendance	学位 Degree
学校名 Name of institution						
小学校 Elementary school						
中学校 Junior high school						
高等学校 High school						
大学 University/College 学部 Faculty 学科 Department						
※日本語学校などについては記入しないで下さい Note : Do not include any language schools						
専修科目選択の理由 Your purpose of studying the special subjects mentioned above (In Japanese)						
入学後の研究課題を記入して下さい Planned topic of research if accepted				卒業論文名 Title of your bachelor thesis		
受験科目名 Subjects of examination				修士論文名 Title of your master's thesis		
博士前期課程・修士課程 Master course		後期課程 Doctoral course				

東北学院大学大学院

外国語学習歴（母国語以外に修得したもの） Education of foreign languages				
外国語 Foreign languages	履修期間 Period of study	履修場所 Location		
両親又は保護者 Parents or guardian				
フリガナ 氏名 Name		年齢 Age	続柄 Relationship	
家族（家族について記入） Family				
続柄 Relationship	氏名 Full Name	年齢 Age	職業 Occupation	
学費及び生活費の出所 Person or organization responsible for your tuition and living expenses				
氏名又は団体名 Name of person or organization				
住所 Address			関係 Relationship	
職歴 Position held				
勤務先及び住所 Name and address of employer		職種 Type of work	期間 Period	
兵役の有無 Military service				
◇種類 Duty status		◇期間 Period		

推薦選考

東北学院大学大学院 推薦選考推薦書

東北学院大学大学院 _____ 研究科 _____ 専攻

入学志願者 _____ を別紙のとおり推薦します。

年 月 日

所 属 _____

職 _____

(大学長・学部長、高等専門学校長が望ましい)

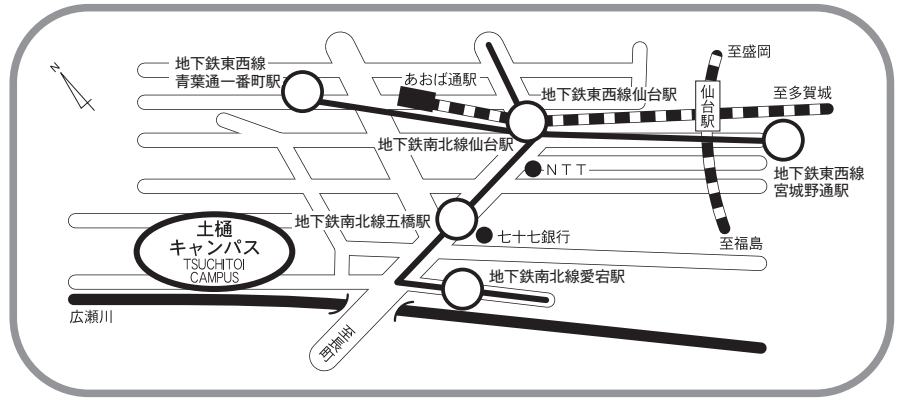
氏 名 _____ ⑩

※志願者の研究分野と将来の希望および素質、性格などについてのご意見を別紙（書式自由）で作成し、厳封の上、本紙とともにご提出ください。

試験会場

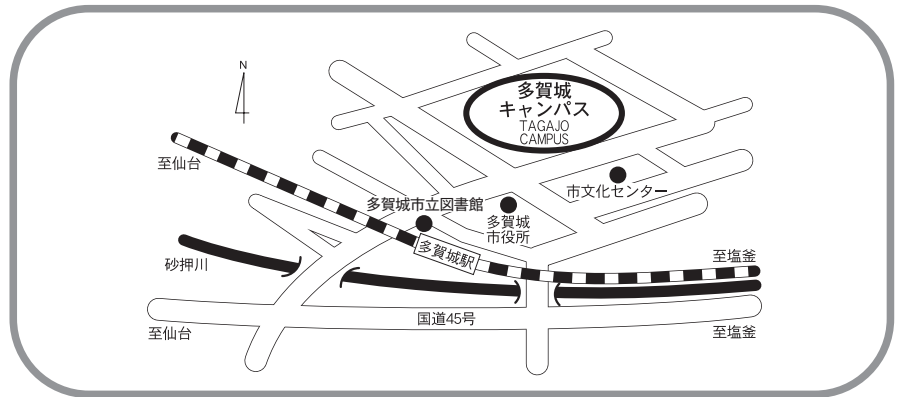
- 文学研究科
英語英文学専攻
ヨーロッパ文化史専攻
アジア文化史専攻
- 経済学研究科
経済学専攻
- 経営学研究科
経営学専攻
- 法学研究科
法律学専攻

土樋キャンパス (秋季・春季)



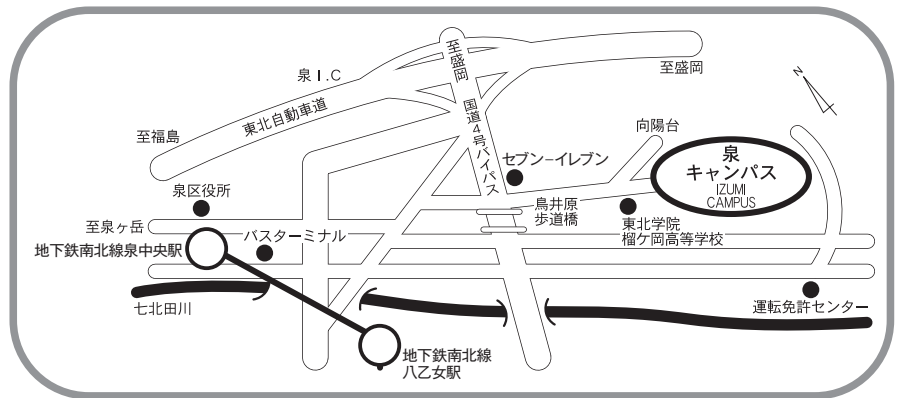
- 工学研究科
機械工学専攻
電気工学専攻
電子工学専攻
環境建設工学専攻

多賀城キャンパス (秋季のみ)



- 人間情報学研究科
人間情報学専攻

泉キャンパス (秋季のみ)



※ 春季試験は全研究科全専攻土樋キャンパスで実施します。

☆ 過去の入試問題を公開しております。下記までお問い合わせ下さい。

東北学院大学大学院

文学・経済学・経営学・法学研究科 (入試部アドミッションズ・オフィス)	〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1	022-264-6455
工学研究科 (多賀城キャンパス学務係)	〒985-8537 多賀城市中央一丁目13-1	022-368-1119
人間情報学研究科 (泉キャンパス学務係)	〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1-1	022-375-1141



●お問い合わせ●

〈入試に関すること〉

東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィス

〒980-8511

宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

TEL.022-264-6455 FAX.022-264-6377

nyushi@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

〈大学院全般に関すること〉

東北学院大学教務課

〒980-8511

宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

TEL.022-264-6365

daigakuin@mail.tohoku-gakuin.ac.jp